

# ちょっとひと工夫

NO. 4

— 家庭学習改善のための情報 —

教学指導課

## 学校や地域の特色を生かして推進する家庭学習モデル校の取組

家庭学習モデル校が、学力向上に向けた家庭学習の改善の取組をスタートさせています。どの学校も、作業的になりがちな家庭学習の内容や方法を見直し、家庭学習の充実を図っています。また、それぞれの学校や地域の特色を生かして、「地域との連携モデル」「脱提出ノートモデル」「小中連携モデル」の構築を進めています。以下に、3校の取組の概要を紹介します。

### 辰野町立辰野中学校：地域との連携モデル校

#### OPTA・地域との連携

- ・教務主任が家庭学習に関わる PTA・地域との調整役。
- ・若手の教職員で家庭学習推進委員会を組織。新しい発想を生かす。
- ・昨年度から「貫練」（地域ボランティア・PTA による昼休みの家庭学習再採点）を実施。今年度は参観日に合わせて「貫練」見学会を実施。
- ・「数学チャレンジ検定」（PTA より提案）：月曜日の朝、5 問位の内容で実施し、満点の生徒に PTA より賞状授与。

#### ○内容の改善

- ・数学：昨年度の家庭学習プリント（「基礎的な問題」「現在、学習している単元に関わる問題」「活用、記述型の問題」）の 3 つをバランスを考慮して配置）を生徒の実態に合わせて修正して実施。
- ・理科：数学のプリントを参考にしながら家庭学習プリントを作成し、週に 1 回位ずつ実施。

#### ○小中の連携

- ・小中連携委員会：家庭学習に関わる分科会を設置し協議。小 1～中 3 の家庭学習の内容を共有。



### 飯田市立鼎中学校：脱提出ノートモデル校

#### ○生徒の意識を踏まえた支援、生徒の考えを取り入れた取組

- ・帰宅後の時間の使い方の実態調査の実施。自分の家庭学習の計画を立てることを指導。
- ・家庭学習振り返りアンケートを 1 学期末に実施（2 学期に生かす）。
- ・「家庭学習のあり方プロジェクト」での、各クラス代表生徒と教職員による家庭学習の協議。

#### ○内容の改善

- ・数学：家庭学習プリントを利用し、地域ボランティアが採点。
- ・国語：学習内容を再構成する力を高める「授業の要点を再要約する百字帳」を実施。
- ・英語：新出単語の発音を家庭で確認し、発音練習ができる学校ホームページ「学びの部屋」の開設（準備中）。

#### ○評価の見直し

- ・定期テストに家庭学習の内容を盛り込む。
- ・提出回数、提出率は通知表の評価対象からはずす。



### 須坂市立東中学校：小中連携モデル校（新）

#### ○家庭学習主任の校務分掌への配置

- ・家庭学習主任を配置し、授業と関連付けた家庭学習や小中連携を推進。

#### ○授業と関連付けた家庭学習

- ・授業をもとに宿題プリントを作成し、教科によって次の授業の最初、または翌週の授業の最初に内容の定着を確認する小テストを実施。

#### ○小中連携（中学校区の三校（東中、豊丘小、仁礼小））

- ・家庭学習アンケートを実施し、地域の児童生徒の現状を三校で共有。
- ・中学校職員が小学生向けの家庭学習プリントを作成し、結果を集計することで、学力・学習習慣の実態把握、経年変化等を分析。
- ・三校合同職員会を実施し、「小中 9 年間を見通した家庭学習の手引き」を検討。
- ・今後、三校の研究主任会（教頭、研究主任、家庭学習主任）が中心になって、家庭学習や授業改善について連携・推進予定。



なお、今年度の家庭学習シンポジウムを右のように行います。モデル校や県内の小中学校の家庭学習改善の取組に学び合ったり、取組に伴う悩みを語り合ったりしましょう。

### 平成 27 年度 家庭学習シンポジウム

日時：平成 27 年 11 月 27 日（金）

会場：須坂市立東中学校

